

新しい舞台で伸びる人

強豪校の部に入るため、寮生活を始めることになった息子に、父は荷物を運びながら静かに語りました。

「レベルの高い場所に行けば、うまくいかないことの方が多い。今まで通用したやり方が通じないこともあるだろう。でも、それでいい。最初からできる人はいない。」

父は続けます。

「大事なのは、できる自分”を見せようとする”ことじゃない。『**教えてください**』と言える**勇気**だ。先輩や仲間、指導者、会う人すべてから学ぶつもりでいなさい。プライドよりも『**素直さ**』を**選べる人**が、**最後に伸びる**。」

新しい環境では、不安が心を小さくします。しかし、心を閉じれば成長も止まります。「一から学ぶ」と決めた瞬間、人は強くなります。うまくいかない日こそ、**吸収する日**です。

父は最後に言いました。

「強くなる近道は、**かっこつけないこと**だ。」

今日の言霊…素直さが最強

レベルの高い環境に身を置くと、自分の力不足を感じる場面が増える。

しかし、**その感覚こそが成長の入り口**である。背伸びをして取り繕うよりも、**分からないことを認めて吸収しようとする姿勢**が力を伸ばす。実力差に落ち込むのではなく、**学ぶ材料が増えた**と考えることが**重要**だ。



人は**指摘や助言を素直に受け止めた分だけ前進**できる。周囲の存在を支えと捉え、自ら質問し、教わる機会を増やすことで**実力は確実に積み重なる**。

新しい挑戦の場では、完璧さよりも**柔らかい心が武器**になる。謙虚さを失わず、**一歩ずつ積み上げる姿勢**が、やがて大きな差となって表れてくるのである。それが**本当の強さへとつながっていく**。

【今回の学び】⇒分からないと言える勇気**が**成長を早める**！**

新しい舞台で伸びる人

強豪校の部に入るため、寮生活を始めることになった息子に、父は荷物を運びながら静かに語りました。

「レベルの高い場所に行けば、うまくいかないことの方が多い。今まで通用したやり方が通じないこともあるだろう。でも、それでいい。最初からできる人はいない。」

父は続けます。

「大事ななのは“できる自分”を見せようとすることじゃない。“教えてください”と言える勇氣だ。先輩や仲間、指導者、会う人すべてから学ぶつもりでいなさい。プライドよりも『素直さ』を選べる人が、最後に伸びる。」

新しい環境では、不安が心を小さくします。しかし、心を閉じれば成長も止まります。「一から学ぶ」と決めた瞬間、人は強くなります。うまくいかない日こそ、吸収する日です。

父は最後に言いました。

「強くなる近道は、かつつけないことだ。」

今日の言霊…素直さが最強

★問題一（語句の意味） 本文における「素直さ」の意味として最も適切なものはどれか。

- ア 自分の考えを決して曲げない強さ
- イ 失敗を隠さず、他者から学ぼうとする態度
- ウ 周囲の意見に何でも従うこと
- エ 自分の実力を積極的に示すこと

★問題二（内容理解） 父が「それでいい」と述べた理由として最も適切なものはどれか。

- ア 最初から完璧にできる人はいないから
- イ 失敗しても努力は必要ないから
- ウ 強豪校では結果が求められるから
- エ できない方が評価されるから

★問題三（内容理解） 本文の内容と一致するものはどれか。

- ア プライドを守ることが成長の近道である。
- イ うまくいかない日は無駄な時間である。
- ウ 新しい環境では自分の実力を示すことが最優先である。
- エ 教えを求める姿勢が人を伸ばす。

★問題四（内容理解） 父が伝えた「強くなる近道」とは何か。

- ア 誰よりも早く結果を出すこと
- イ 自分の弱さを見せないこと
- ウ かつつけずに学ぶ姿勢を持つこと
- エ 一人で努力を重ねること

問題五（記述） 本文によれば、新しい舞台で伸びる人の条件とは何か。四十文字で答えよ。

【模範解答】

★問題一 解答 イ

解説④ 素直さとは自分を大きく見せず失敗も認め他者に教えを請う姿勢を選べる態度を指している。

★問題二 解答 ア

○解説④ 父は最初から何でもできる人はいないと述べ失敗や不慣れを成長の前提として受け止めている。

★問題三 解答 エ

○解説④ 本文は教えてくださいと言える勇気と素直に学ぶ姿勢こそが最後に人を伸ばすと強調している。

★問題四 解答 ウ

○解説④ 強くなる近道はかつつけず一から学ぶ姿勢を持つことだと父は息子に語っている。

★問題五模範解答

素直に学び教えを請う勇気を持ち続ける人が伸びる

○解説④ 文はできる自分を見せるより素直に学び続ける姿勢こそが成長につながると述べている。

レベルの高い環境に身を置くと、自分の力不足を感じる場面が増える。

しかし、**その感覚こそが成長の入り口**である。背伸びをして取り繕うよりも、分からないことを認めて吸収しようとする姿勢が力を伸ばす。実力差に落ち込むのではなく、**学ぶ材料が増えた**と考えることが重要だ。



人は指摘や助言を素直に受け止めた分だけ前進できる。周囲の存在を支えと捉え、自ら質問し、教わる機会を増やすことで実力は確実に積み重なる。

新しい挑戦の場では、完璧さよりも**柔らかい心が武器**になる。謙虚さを失わず、一步步積み上げる姿勢が、やがて大きな差となって表れてくるのである。それが本当の強さへとつながっていく。

【今回の学び】⇒分からないと言える勇気が成長を早める！